

令和5年と年が改まりました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。昨年は、公私ともに大変お世話になり、心より御礼申し上げます。

お陰様で国政復帰を果たしてから、まだまだ足りないものの、地元のために一生懸命働いてきた自負があります。

今年は選挙の年でもあります。1月には亀岡市議会議員選挙があります。多くの仲間がいますが、とりわけ「**梅本やすひろ**」さん、「**山木ひろや**」さん、「**原野みおこ**」さんが、私と連携を密にして、**亀岡のために汗をかいてくれると確信しています。**

また、4月には統一地方選挙があります。**西京区では、天方ひろゆき京都市会議員、右京区では、岡本かずのり京都府議会議員、そして「きくち一秀」さんが、それぞれの地元のために私とともに仕事をして参る決意です。**

皆様や同志の仲間とともに、それぞれの地域のため、日本のために、引き続き全力で奮闘して参る決意です。

昨年は、ロシアのウクライナ侵攻をはじめ、物価高、急激な円安に直面しました。こうした中で、政治も混乱をして、与野党ともになかなか国民の期待に応えられていません。この国の行く末に危機感を持っているのは、私一人ではないと思います。

「論語」に次のような話があります。昔、子貢という孔子のお弟子さんが、「政治とは何か」と師匠に問います。孔子は、「1) 食と暮らしを充実し、2) 兵を充実し、3) 国民に信頼されることだ」と答えます。子貢が「どうしてもこの三つのうち一つを犠牲にしなければいけない場合、どれを先にすべきか」と再度尋ねます。孔子は「兵を犠牲にすべきだ」と返答します。さらに「残りの二つのうち、どうしてももう一つ犠牲にしなければいけない場合、どれにするか」と聞かれ、「食と暮らしだ。古来より人はいずれ死ぬモノだ。しかし、**国民に信頼されなければ、政治は成り立たない**」と答えます。最後のくだりは「**信無くんば立たず**」という言葉で有名です。

政治の根本を指し示している言葉だと思います。あらゆる理想がそうであるように到達は困難でしょうが、常にそれに向かって努力しなければいけないと、私は強く確信しています。

コロナ感染が広がってから、もはや3年も経とうとしています。少しずつ世の中も正常に戻りつつありますが、お身体には十分にお気をつけください。私も皆様とともに、元気に「京都のため、日本のため」に引き続き奮闘して参りますので、今年1年間もよろしくお願い申し上げます。